

# 静岡市剣道連盟

# 広報だより

第 10 号

発行：静岡市剣道連盟  
事務局：静岡市葵区上足洗 4-3-28  
☎054-246-9551

## 生涯剣道のすすめ

静岡市剣道連盟

副会長 石川 廣美



静岡市剣道連盟には、スポーツ少年団、道場、学校、企業、OB会ほか多くの団体が所属しています。小学生から高齢者まで現役で活動できるのが剣道（剣道・居合道・杖道）の特長です。息の長い剣道修練で大切なことはそれぞれの年代で自分の目標を決めることだと思います。競技志向、昇段、健康増進、青少年の指導などその時々で自分の主な目標があると思います。また、長い人生の中で十分な稽古ができない時期もあると思います。私も仕事の忙しさにかまけて稽古をしない時期があり、今になって後悔しています。

剣道の稽古は道場で竹刀を交えるだけでなく、自分の家で相手を想定した打ち込み、素振り、仮想稽古・試合、また日本剣道形も一人で行うなどいろいろな工夫で、少しの間でも継続して行って下さい。正しい基本に常に立ち返ることも大切です。道場に入りいきなり地稽古ではなく一人で基本技を行い構え、踏みこみ、打突のチェックを少しでも行うことで剣道力の向上ができると思います。

人にはそれぞれ「剣風」があります。判で押しつけたような形を求めるものではありませんが、基

本は長い間多くの先人が最も理合にあった剣道を求めた中から築いてきたもので先に述べた試合、昇段また怪我をしないで長く剣道ができることにつながると思います。

静岡市剣道連盟では、試合を例にすると護国神社主催の「万灯みたま祭少年剣道大会」に出場する小学生1年生から、全国高齢者剣道大会で85才以上の部で3連覇・内閣総理大臣杯を獲得した林学先生まで「生涯剣道」を実践している目標となる方も多くいます。是非、連盟活性化のためにも剣道を始める人を増やすことや休止している人に再び竹刀を持つてもらうことが期待されます。

道場もホームページに掲載しており「誰でもいつでも、気軽に」入門して剣道・居合道・杖道に親しんで心身共に健康な「生涯剣道」を目指して下さい。

## 支え、支えられて

静岡市剣道連盟

理事長 桂山 洋一



私は、現在、静岡市剣道連盟の理事長を務め、剣道連盟の諸行事にかかわっています。

諸行事については、剣道連盟の各委員会の委員が企画、運営に携わっています。それぞれの委員は当然ご自分の仕事等をお持ちであり、その仕事の後に、時間のやりくりをして、準備のための会合を開いたり、持ち帰って自宅での仕事に取り組んだり・・・と奔走しています。

さらに、当日になれば、行事が行われる会場では、駐車場係を担当する委員が始まる1時間以上前から自動車を受け入れる準備から活動が始まります。（養浩館での駐車については、参加者の皆さんにもご理解とご協力をお願いします。ありがとうございます。）

それに加えて、関係団体の方々にも係員のお仕事をお願いしている大会もあります。

もちろん、その行事、大会が成り立つのは、出場し、元氣いっぱい、気迫溢れる試合をする会員の皆さんの存在が不可欠です。

また、静岡市剣道連盟の稽古会において、参加者、見学者の皆さんに、使用前、使用後に養浩館等の会場内の準備、片付け、床・トイレ等の掃除にもご協力をお願いします。自主的に取り組んでいる方々もいらっしゃいます。誠にありがとうございます。

以上のように、静岡市剣道連盟の様々な活動は、会員の皆さんのお力があるからこそ成り立っています。静岡市剣道連盟のひとつひとつの活動が、一人ひとりの活動によって支えられています。「私が静岡市剣道連盟を支えている」という気持ち。

「私がこの行事に参加して活動できるのは、この活動を支えている方たちのおかげ」という感謝の気持ち。この気持ちが溢れる静岡市剣道連盟でありたいと思います。

今後とも、よろしく願いいたします。

林学先生 全日本高齢者武道大会（寿A）優勝3連覇、内閣総理大臣賞受賞おめでとうございます。

去る6月9日（月）東京日本武道館で開催された第36回全日本高齢者武道大会（剣道）において、元静岡市剣道連盟会長、現静岡市剣道連盟顧問 林学先生が、寿A（85歳以上）の部で見事優勝され、3連覇の偉業を達成されました。さらに、寿B（80〜84歳）の優勝者との決定戦に勝利し、内閣総理大臣賞を受賞されました。



### 第9回鈴与杯少年剣道大会

開催日時 平成26年5月6日(火・祝)  
大会会場 静岡市北部体育館

- ◇小学生の部 21チーム
  - 優勝 武修館
  - 準優勝 小島剣道入求少
  - 三位 大剣会
  - 三位 S B S 錬心館
- ◇中学生男子の部 26チーム
  - 優勝 東海大学付属翔洋高等学校中等部
  - 準優勝 服織中学校
  - 三位 城内中学校
  - 三位 安東中学校
- ◇中学生女子の部 21チーム
  - 優勝 長田西中学校
  - 準優勝 大里中学校
  - 三位 長田南中学校
  - 三位 美和中学校

### 第8回万灯みたま祭奉納剣道大会

開催日時 平成26年7月26日(土)  
大会会場 (社)静岡県剣道連盟「養浩館」

- 勝抜賞：五人抜き
- 1年 松川剣大(静岡武修館)
  - 2年 望月健成(小島剣道入求少)、武井雅弥(大剣会)
  - 3年 宮沢慶次郎(静岡武修館)、前田佳孝(静岡武修館)  
太田 匡(静岡武修館)  
元野 湊(静岡市役所浜田剣道教室)
  - 4年 佐藤宏太(大剣会)、長倉早月(新運館)  
山田大貴(大剣会)、佐藤直樹(蒲原剣道少年団)  
石野美沙季(新運館)、大久保翔志朗(篤誠館)
  - 5年 山崎優斗(静岡武修館)、山田弦季(大剣会)  
竹村真紘(静岡武修館)、前田知里(静岡武修館)  
尾平樹優(静岡市役所浜田剣道教室)  
内田空翔(S B S 錬心館)
  - 6年 松川美羽(静岡武修館)、石垣圭梧(静岡武修館)  
岡田雅弘(安東剣道教室)、山田雄風(大剣会)  
前澤昇利(小島剣道入求少)、岩本修翔(安東剣道教室)  
長倉裕真(新運館)、安東七海斗(新運館)  
杉山美紗(興津剣友会)

### 第52回近県青少年剣道大会

開催日時 平成26年8月16日(日)  
大会会場 静岡市北部体育館

- ◇青少年の部 参加47チーム
  - 優勝 誠学館A(富士市)
  - 準優勝 静岡市駿河区
  - 三位 誠学館B(富士市)
  - 三位 静岡市清水区
- ◇小学生の部 参加70チーム
  - 優勝 武修館(三島市)
  - 準優勝 誠道会北部道場(浜松市)
  - 三位 東丘少年剣友会(愛知県みよし市)
  - 三位 剣修館道場(浜松市)



### 第12回 静岡市民剣道大会

開催日時 平成26年10月13日(月・祝)  
大会会場 静岡市北部体育館

- 【小学生4年の部】
  - 1位 山田 大貴(大剣会)
  - 2位 佐藤 宏太(大剣会)
  - 3位 佐藤 直樹(蒲原剣道少年団)
  - 3位 竹下 海月(大浜剣友会)
- 【小学生5年の部】
  - 1位 山崎 優斗(静岡武修館)
  - 2位 山田 弦季(大剣会)
  - 3位 竹村 真紘(静岡武修館)
  - 3位 尾平 樹優(浜田剣道教室)
- 【小学生6年の部】
  - 1位 松川 美羽(静岡武修館)
  - 2位 安藤 七海斗(新運館)
  - 3位 岡田 雅弘(安東剣道教室)
  - 3位 白鳥 太一(静岡武修館)
- 【中学男子1年の部】
  - 1位 佐藤 優芽(翔洋中)
  - 2位 小森 駿(清水二中)
  - 3位 岡村 亮輔(未広中)
  - 3位 関 隆之介(翔洋中)
- 【中学男子2年の部】
  - 1位 山本章太郎(安東中)
  - 2位 古谷 憲生(翔洋中)
  - 3位 佐藤 亮生(翔洋中)
  - 3位 滝浪 大吾(安東中)
- 【中学男子3年の部】
  - 1位 吉澤 泰平(翔洋中)
  - 2位 佐藤 大阿(翔洋中)
  - 3位 望月 大翔(翔洋中)
  - 3位 竹村 悠太(翔洋中)

### 第8回 静岡市段別居合道大会

開催日時 平成26年9月23日(火・祝)  
大会会場 静岡市北部体育館 剣道場

- 【段外の部】
  - 優勝 鈴木寛彦(中央体育館)
  - 二位 柴一尋(長田体育館)
  - 三位 寺田善徳(長田体育館)
- 【初段の部】
  - 優勝 清水政幸(北部体育館)
  - 二位 本目愛音(中央体育館)
  - 三位 柴田 享(中央体育館)
- 【二段の部】
  - 優勝 秋元 柊(静岡八重垣会)
  - 二位 高木隆二(大園望拓心会)
  - 三位 岡本記代子(中央体育館)
- 【三段の部】
  - 優勝 三浦悠也(中央体育館)
  - 二位 柴木 崇(無相会)
  - 三位 松永俊乃(中央体育館)
- 【四段の部】
  - 優秀者 中村弥弘(無双直伝英信流)
- 【五段の部】
  - 優秀者 馬場麻毛留(伯耆流)
- 【六段の部】
  - 優秀者 松下武人(夢想神伝流)



- 【中学女子1年の部】
  - 1位 森 文香(籠上中)
  - 2位 佐野樹乃葉(清水六中)
  - 3位 宮坊 果奈(東中)
  - 3位 伊藤 幸穂(安倍川中)
- 【中学女子2年の部】
  - 1位 佐藤 亮子(南中)
  - 2位 田島 萌美(豊田中)
  - 3位 安藤 綺更(静岡大付属中)
  - 3位 倉島 花梨(長田南中)
- 【中学女子3年の部】
  - 1位 市川 優真(常葉橋中)
  - 2位 堀川菜都子(新運館)
  - 3位 堀本 凛(長田西中)
  - 3位 中川 奈緒(長田西中)
- 【高校男子の部】
  - 1位 渡邉 拓朗(翔洋高)
  - 2位 高尾 純(静岡市立高)
  - 3位 長田 優佑(静岡東高)
  - 3位 坂本 雄大(駿河総合高)
- 【高校女子の部】
  - 1位 仲田 千紗(駿河総合高)
  - 2位 宮奥 香奈(駿河総合高)
  - 3位 長倉 未典(駿河総合高)
  - 3位 小泉 輝歩(駿河総合高)
- 【女子大学・一般の部】
  - 1位 井上真理菜(尚志会)
  - 2位 轟 真由美(劍誠会)
  - 3位 中本比衣奈(尚志会)
  - 3位 栗田 真紀(県立大)
- 【男子40歳未満の部】
  - 1位 野崎 泰孝(鈴与)
  - 2位 沢登 陽介(常葉大)
  - 3位 西澤 隕(常葉大)
  - 3位 森川 和晃(翔洋)
- 【男子40歳以上の部】
  - 1位 富永 光則(蒲原剣道)
  - 2位 海老澤芳紀(大剣会)
  - 3位 鍋田 光伸(清心館)
  - 3位 堀内 栄明(用宗剣道)

### 第12回静岡市中学新人団体戦

開催日時 平成26年10月19日(日)  
大会会場 静岡市北部体育館

#### 【男子】

- 優勝 東海大学付属翔洋高等学校中等部
- 二位 静岡市立大里中学校
- 三位 静岡市立東中学校
- 三位 静岡市立安東中学校

#### 【ベスト8進出校】

- 静岡市立清水第一中学校
- 静岡市立長田南中学校
- 静岡市立末広中学校
- 静岡市立南中学校

#### 【女子】

- 優勝 静岡市立清水第六中学校
- 二位 静岡市立南中学校
- 三位 静岡市立長田西中学校
- 三位 静岡市立大里中学校

#### 【ベスト8進出校】

- 静岡市立豊田中学校
- 静岡市立長田南中学校
- 静岡市立末広中学校
- 静岡市立高松中学校



### 第11回静岡県中部剣道大会

開催日時 平成26年11月24日(月)  
大会会場 静岡市北部体育館

#### 【団体戦】

- 【男性50歳未満の部 参加22チーム】  
優勝 静岡刑務所A  
準優勝 焼津市剣道連盟東大支部A  
三位 静岡刑務所B

- 【男性50歳以上の部 参加11チーム】  
優勝 藤枝剣道連盟  
準優勝 静岡剣誠会D  
三位 島田剣道連盟

- 【女性の部 参加11チーム】  
優勝 中部地区女子稽古会  
準優勝 新連館A  
三位 尚志会

#### 【個人戦】

- 【男性40歳未満の部 参加78名】  
優勝 奈須祐亮  
準優勝 塩澤昌史  
三位 大石高也

- 【男性40歳以上55歳未満の部 参加40名】  
優勝 須田彰宏  
準優勝 福田豊輔  
三位 押尾武史

- 【男性55歳以上の部 参加10名】  
優勝 板野 悟  
準優勝 岩崎智宏  
三位 栗田俊裕

- 【女性30歳未満の部 参加15名】  
優勝 西ヶ谷沙織  
準優勝 高橋季実子  
三位 吉岡 彩

- 【女性30歳以上の部 参加14名】  
優勝 乙崎 麗  
準優勝 海野麻由美  
三位 佐藤伊都子



### 第12回静岡市民剣道 高校団体優勝大会

開催日時 平成27年2月11日(水・祝)  
大会会場 県剣道連盟養浩館

#### 【男子】

- 優勝 東海大翔洋高
- 二位 静岡東高A
- 三位 駿河総合高A

#### 【女子】

- 優勝 駿河総合高A
- 二位 静岡西高A
- 三位 清水東高A



### 小田原剣道連盟との 剣道交流会について

静岡市剣道連盟は11月29日(土)30日17名の会員により初の県外遠征を実施しました。神奈川県箱根の体育館で地元剣士を交えて稽古を行いました。当日の箱根は紅葉の真っ盛りで大変たのしい武者修行の旅となりました。



### 中体連だより 「三年間の想いをこめて」

東海大学附属翔洋高等学校中等部 木下 翔平



私が東海大翔洋中に入学をしたとき、心の中には不安しかなかった。部活の稽古にしっかりとついていけるか、先輩たちに迷惑をかけないか、常に不安を抱えながらの毎日でした。そんな私を変えてくれたのが、一年時の中体連でした。あの夏、先輩たちがとても強く、頼もしく見え、それが私の心に強く印象に残りました。私は中体連で勝負の厳しさ、勝った時の喜びを覚えました。そして、その時期を境に、私に変化が起きました。

私は、小学生の時は個人戦に出れば常に一回戦負けでした。しかし、1年の秋、市民大会という小さな大会ではありましたが、準優勝という結果を残すことが出来、自信を持つことが出来ました。しかし、その後の大会や遠征ではすべてがうまくいくわけではなく、たくさん挫折を味わいました。

こうして迎えた2年の中体連。私は、決勝に次鋒で出場させていただきました。先鋒が素晴らしい二本勝ちで私につなげてくれたにもかかわらず、一本負けをし、流れを変えてしまいました。中体連の重み、怖さを感じました。その時の悔しさは今でも忘れません。それでも、地元開催のため、準優勝チームとして全中に出場することが出来ました。その喜びと感動は忘れられません。そして、来年もう一度この舞台に立ちたいと誓いました。

迎えた最後の中体連、私は「上を見ないで目の前の試合に全力で臨む。一戦集中!」を心に決め、試合に臨みました。そして、個人戦で優勝し、全中に出場することが決定しました。嬉しかったのですが、私の最大の目標は団体戦で優勝し、チームで全中に出場することです。しかし、決勝でライバル校に敗れ、目標をかなえることは出来ませんでした。ここまで応援して下さった方々のためにも勝ちたかったですが、努力が足りなかったのだと思います。この悔しい思いを忘れず、また日々の稽古に励んでいきたいと思えます。

悔しい思いはたくさんしましたが、あらためて剣道が好きになった三年間でした。



## 受賞寄稿文

### 平成25年度 少年剣道教育奨励賞 美和剣正会（葵区）、井宮剣志会（葵区）

少年少女の剣道指導に永年にわたり尽力し、家庭及び学校教育並びに地域社会の向上に資する活動を継続したことが認められ、全日本剣道連盟から美和剣正会（葵区）、井宮剣志会（葵区）に平成25年度「少年剣道教育奨励賞」が授与されました。

### 35年間のご褒美

井宮剣志会 杉山 和志

この度の「少年剣道教育奨励賞」を頂戴し、35年間のご褒美を頂いたのだと関係者一同感謝しております。ありがとうございます。

井宮剣道少年団は、昭和53年12月に産声を上げ、当時の井宮小学校の校長先生が剣志会と命名していただき、「井宮剣志会」として井宮小体育館において週3回（火・木・土）の稽古が始まりました。発足当時は、井宮学区もたくさんの子どもが居り、まだサッカー、バレーボール等の少年団も無く、井宮小学校及び近隣の小学校から口コミで大勢の子どもが集まり、40名くらいの少年剣士が在籍していました。

当時を振り返ると、まだ私も二十歳前で、正春武道具製造所の曾根正夫先生と共に今では考えられない様な稽古をしていました。足を掛けて倒す、投げ飛ばすなど……。でも子ども達も慣れてくると自分からわざと前に転び、胴をうまく利用して体育館の床の上を腹這いに滑って遊ぶ子も出てきました。一日の稽古が終わると面取り合戦が始まります。体育館の壁を背にして逃げる子、2、3人で作戦を立てて面を取りに行く子、一対一で勝負する子、その時が一番生き生きして、これを楽しみに来る子も大勢いたと感じています。

そんな中、35年間で忘れられない思い出があります。平成15年8月の県下少年剣道総合錬成大会（96チーム参加）で、見事ベスト8に入り敢闘賞を頂いたことです。この時は本当に“やってよかった。”と思いました。

最後に、今現在、子どもが少なくなってきましたが、剣道がもっともっと井宮地区に根付くように長く続けていきたいと考えています。これまでご協力いただきました皆様に感謝するとともに、これからは皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。ありがとうございました。



### 「少年剣道教育奨励賞」を受賞して

美和剣正会 川崎 勝利

この度、全日本剣道連盟より平成25年度少年剣道教育奨励賞を受賞し、会員一同、大変喜んでお祝いと共に、県剣連、市剣連をはじめ、関係者の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

美和剣正会は、昭和63年に静岡市葵区美和地域健全育成会の後援で「美和地域住民の心身の健全育成のために、武道教育を行う。」を目的に美和武道連盟が設立され、その中の剣道部として発足しました。

現在会員数は約40名で週2回の稽古に励んでいます。指導者・子供・一般会員のほとんどが美和地域の住人で、この地域には足久保・美和・安倍口小学校と美和中学校があり、小学生・中学生が剣正会の稽古に参加していて、新年の初稽古には自治会役員を招いて演武を披露するなど、地域・学校との連携が取れている事も大きな特色の一つと言えます。保護者の方々の協力もありアットホームな雰囲気の中で活動しています。

また、昇級・昇段審査への参加、剣道大会への出場をしていますが、特に静岡市内の道場との交流も積極的に行い、子供たちが様々な交流を積む事で、どこに行っても臆することのない精神的自信がつけば良いと考えています。

稽古は、基本稽古・打ち込み稽古などが中心ですが、指導者の先生方が多く見えた時は元立ちとなり、掛り手の息の上がるような稽古をお願いします。

剣道は「礼に始まり礼に終わる」と言われます。礼を形だけに留めることなく「おはようございます。こんにちは。ありがとうございました。」の挨拶が日常生活で自然にできる事は勿論のこと、相手を尊重することや、支えてくれる保護者の方々や道場・道具等にも感謝する気持ちを育み、更に稽古を通してお互い切磋琢磨して自己を高め合えるよう今後も指導していきたいと思っています。



平成25年度



平成26年度